



第79巻 第4号
 年4回発行
 社会福祉法人 慈生会
 〒165-0022
 東京都中野区江古田3-15-2
 TEL 03-3387-5567
<http://www.jiseikai.jp>
 振替口座 ベタニアの家
 00170-6-15317

新しい時代の

共に繋がる保育を求めて

森 乃里子

新型コロナウイルスは私たちの日常を奪い去り、自然の変異と猛威の前に人間は無力であることを改めて思い知らされました。

徳田保育園は、四月十三日より原則臨時休園、五月三十一日まで休園期間の延長、そして開園と変化していく行政の指針に、保護者の皆様にご協力を頂きながら試行錯誤を繰り返した半年間でした。この期間、保育者たちは感染リスクを負いながらも、子どもたちのエネルギーに励まされつつ、誠実に保育と向き合っておりました。

保育所等は幼稚園や小中高校と異なり「学校保健安全法」の様な休園に出来る規定は無く、行政の指示による登園自粛をお願いした上で、両親が社会生活を維持する為に必要な職業に就いている等、家庭保育が困難な状況にある園児のみを受け入れ

ました。四月十三日以降は、園児百十七名中十名以下の登園数に減少し、事務部門以外の保育職員も出勤人数を通常の五分の一まで減らし、自宅待機として交代保育を進めました。

この期間中、一人ひとりの保護者の置かれている状況や職員の感じ方にも違いがあり、様々な意見が寄せられました。近隣でのクラスター発生も世間では喧しく憶測を呼び、非常にデリケートに不安を高く感じる方がいても致し方ないことでした。

「開園継続」に関しては、日曜日や夜間にも不安のご意見を頂くこともありました。

そのような中で大切にしたい事は①「感染対策の徹底」「安全な環境」②職員が安心して働く為の「情報共有」③保護者家庭へ園の取り組みを理解して頂く為の「情報発信」でした。

① 感染対策の要点は、公共の交通機関を利用する保護者が多く、ウィルスの園内への持ち込みを防ぐ『登降園時の玄関口対応』と『保育は基本クラス単位で活動、一階クラスと二階クラスは交わらない事』でした。

石鹸を使った丁寧な手洗い・小まめな換気とオゾン発生機の導入・玩具消毒の徹底・昼食時の飛沫を防ぐ間仕切りの作成(保護者協力の2ℓペットボトル使用)、〇歳〜一歳児クラスでは、無症候性感染の伝播を防ぐ目的でフェイスシールドを使用して食事介助をしています。一方職員は、健康状態と行動を記録し、一階クラス・二階クラス・給食室職員は、それぞれに動線を明確にして休憩室・トイレ・記録室をエリア分けし、交わらないようにしました。

② 職員間の情報共有は、毎週月曜日の昼礼に「新型コロナウイルス対策会議」を開き、行政からの指針変更の確認や感染対策で補強すべき点などを話し合いました。また、先が見通せず漠然とした不安を抱く職員もおり、日々の疲れを分かち合う目的で面談を実施しました。玄関口対応は、七時からの早出保育士を二名から四名に増員配置している為、職員の理解と協力無しでは成り立ちません。

③ 保護者家庭への情報発信については、担任より全家庭へ電話での様子の聞き取りや、園便り・おやつレシピ等を郵送し、六月には園の感染対策と、園舎内に保護者は立ち入れず様子をご覧頂けない為、ソーシャルディスタンスを取り入れた生活写真や載せた書面を配布しました。延期していた年中・年長児の個人面談は七月より実施し、オンラインを希望される方も多く、短時間ではありま

したが好評でした。八月初旬には、今年度初めて「父母の会懇談会」を開催し、各学年代表の方々と感染対策への引き続きの協力依頼と、後半期の行事の見通しをお伝えしました。

この半年間、七十七年に渡るカトリック園の歴史を見つめ、一つ一つの行事を現状に合わせながら変化させ、どのような配慮をしたら伝統を守り伝え、子どもたちの育ちに繋がる経験が出来るのかを考えて来しました。「密」を避けることが最優先課題とされ、ソーシャルディスタンスという言葉も一気に根付き始めました。しかもこれは一時のことではなく、長く続くことが見えてきました。感染対策の観点からは感染しない配慮はいくらでも考えられます。しかし、乳幼児の脳は、養育する側との身体接触の経験によって発達すると言われており、出来る範囲の中で保育者と子どもたちが思う存分身体接触できる時間を重ねることが、大切であると考えています。

コロナ禍に在っても保育園は、子どもの命を守り、情緒を育み、就労を支える、当たり前の日常を支える役割を担っていると改めて感じています。

出来ないことに着目するのではなく、手段や方法を変えて小さな繋がりをつくさん作りながら、保護者の皆様、職員と共に、この新しい時代を乗り越えていきましょう。

(徳田保育園 園長)

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、例年行われてきましたベタニアの家創立記念ミサが中止となりましたが、永年勤続表彰式は那須地区、清瀬地区、中野地区に分けて行うことになり、ベタニア修道女会Sr田代総長、慈生会Sr松本理事長に各施設をまわっていただきました。

いつのまにか三十年

浅野 敏

秋津教会の掲示板に興味をもち、職員募集のポスターに巡り合ったのがきっかけで就職。老人ホームなので静かかと思いきや、あに凶らんや賑やかな事。バイタリティあふれる女性職員の多さに驚かされた。介護保険制度前は、八重桜のある園庭で季節の変化を感じながら様々な行事を行ったり、バスで一泊旅行に出かけディズニーランドで遊んだり、ご利用者とホームの日常生活とは違う体験を楽しんだ事が懐かしく思い出される。制度開始後は、ご利用者が安全に安心してホームで生活できるよう、職員の介護知識・技術等のより一層の高度化が求められ、ゆとりのない仕事になっていたかなと思う。でもこの制度のおかげでケアマネジャーとして仕事が続けられてもきた。

振り返れば、腰を手術した時には復帰を待ってくれたなど、何かある都度周りの皆さんに支えられて今の私があるのだなあと実感している。楽しく振り返る事ができる。何かしら幸運に恵まれた三十年間だったと思う。ありがとうございます。

(慈生会清瀬ケアプランセンター
介護支援専門員)

たくさんの感謝のうちに…

青柳 一恵

平成二年四月一日、保育士として働く事が出来る喜びと緊張感でドキドキしながら教会のアーチをくぐり、みこころ広場で心を落ち着かせてナザレットの家に入った事を今でも鮮明に覚えています。

あれから三十年：振り返ってみると、やはりたくさんの子ども達と慈生会の皆様との出会いが思い出されます。

「〇〇ちゃんの担当をお願いできるかしら」と、主任から初めて担当児を託された時は嬉しくて嬉しくて、愛着関係を築く為に試行錯誤を繰り返し、無我夢中の毎日でした。

その後も多くの子ども達を受け持ち、子ども達からたくさん大切な事を教えられ、今の私があります。

平成二十九年十二月には、ナザレットの家の清瀬地区移転という大きな出来事がありました。

引っ越し当日、子ども達が乗る大型バスを囲むように、中野地区の大勢の方々が見送ってくれました。たくさんの方々の温かい笑顔と拍手が、子ども達への祝福の様に感じられ、とても温かい気持ちになりました。また、私自身も励まされ、新たな一歩を踏み出すことが出来ました。

三十年の間に会った子ども達と慈生会の関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、子ども達が笑顔溢れる毎日を過ごせる様、努めて行きたいと思っています。

この度はコロナ禍の大変な中、表彰をして頂き有難うございました。(ナザレットの家 保育士リーダー)



聖家族ホーム・聖ヨゼフ老人ホーム 6月25日



ベトレヘムの園病院 6月25日



マ・メゾン光星 6月15日



ナザレットの家・ベトレヘム学園 8月6日



徳田保育園 6月26日



中野トータルサポートセンター 6月26日

「ひだまりの道」祝別式での思い

平橋 誠次

去る七月三十日、澤野神父様の司式により「ひだまりの道」の祝別が行われました。

あいにくの小雨でしたが、車が安心して通行できるような安全な道になり、今後マ・メゾン光星の土地をしっかりと維持管理できるようにになりました。

ちなみに、「ひだまりの道」の命名

は、名前を職員から募集し三名の方が命名者となり施設長から美味しいクッキーをプレゼントされました。



ところで、マ・メゾン光星には、広大な土地

があります。その管理においては、今まで農道の事情が悪く、又利用者の高齢化・重度化の流れの中で不十分になってきました。年に一度のオリエンテーリングの行事の時に職員が中心となり道路の草刈りに追われ、山林の管理まで行き届かない現状でした。

さらに、主たる活動の場が居住棟の近くに移動し、職員の中でも敷地の広大さを実感できなくなってきたという状況です。

この状況の中で、本部の意向で農道の整備が進められ、「せせらぎの小道」「こもれびの道」「まきばの道」そして今回の「ひだまりの道」が完成しました。道路の整備と共に山林管理も進められ、さらに施設内の山林の植生図までも完成することができました。



この道を通して、これからも昭和天皇からいただいたこの那須の土地を大事にしながらい維持管理をし、フロッジャク神父様の夢に向かって活用して行きたいものです。

今、東京を中心に全国でコロナ騒ぎが広がっていますが、収束の日はいつか訪れます。その時には、四季折々にいろいろな情景が見られるマ・メゾン光星に立ち寄ってください。

緑の牧草と新緑や紅葉の山林、どこまでも透き通った青い空、そして車の通らない道路を利用してそれぞれのやり方で自然を満喫していきましょう。

(マ・メゾン光星)

来年こそはジンギスカン！

鈴木 真奈美

お神輿をかついで町内を回り、力強い太鼓の音の中、やぐらを立てて盆踊り、美味しい屋台もいっぱい納涼祭が、コロナウィルスの影響で中止になってしまいました。納涼祭は地域の方と協力して行う、子ども



たちも毎年楽しみにしている行事です。今年は子どもたちにとっても職員にとっても思いもかけないことが起こり、我慢を強いられることも多かったと思います。納涼祭の中止もその一つです。

そこで今年は少しでも子どもたちにお祭り気分を味わってもらおうと規模を縮小し、園内のみでミニ納涼祭を計画。当日はあいにく雨だったのでベトレーム学園のホールが会場になってかき氷、綿菓子、ヨーヨー釣りとお祭りにはおなじみのものが並びました。いつもはお金を出して買ってもらうのですが、今年はスタンプカードを持ってくれば全部無料

に！子どもたちもいつもの納涼祭と違って戸惑ったと思いますがかき氷に何種類ものシロップをかけたり、苦労して取ったヨーヨー



(これが結構難しいのです！)で楽しんだり、綿菓子をほおばったり、いい顔でお祭りを楽しんでいて嬉しかったです。

中高生の有志もお手伝いをしてくれ今日からでも綿菓子屋さんになれるのではと思うほど見事な綿菓子を作ってくれたり、かき氷、ヨーヨー釣りに来てくれた子どもたちが楽しめるように盛り上げてくれました。手伝ってくれた皆に感謝です。

楽しい今年のミニ納涼祭でしたが、やはりジンギスカンの踊りがなかったのは寂しい。「ジン、ジン、ジンギスカン♪」の歌に合わせて、納涼祭のシメに踊るジンギスカンはベトレーム学園の納涼祭の伝統。フルで踊るとかなり疲れるのですが、この踊り、毎年子どもたち、地域の方や職員と一緒にとても盛り上がります。来年は、みんなでジンギスカンを踊れるにぎやかな納涼祭が出来ることを願っています。

(ベトレーム学園 里親支援専門相談員)

ベタニアの家

十月行事予定

16日 ☆聖マルガリタ・マリア・アラコク祝日
16日 ベタニア修道女会 初誓願・終生誓願式
18日 ☆世界宣教の日

十一月行事予定

1日 ☆諸聖人
1日 東星幼稚園 入園面接
1日 東星小学校 第二回入学試験
2日 ☆死者の日
3日 《文化の日》
7日 東星小学校 第二回入学試験
15日 ☆貧しい人のための世界祈願日
15日 ☆聖書週間
22日 ☆王であるキリスト
23日 《勤労感謝の日》
25日 慈生会 理事会・評議員会
29日 ☆待降節第一主日

十二月行事予定

6日 ☆待降節第二主日
6日 ☆宣教地召命促進の日
8日 ☆無原罪の聖マリア
12日 創立者フロジャク神父命日
12日 東星小学校 第三回入学試験
12日 ベタニアホーム
12日 クリスマスコンサート
13日 徳田保育園 クリスマス聖劇
15日 ☆待降節第三主日
15日 ベトレヘムの園病院クリスマス会



16日 慈生会 理事懇談会
18日 東星学園幼稚園クリスマス会
19日 東星学園小学校クリスマス会
20日 ☆待降節第四主日
20日 ベトレヘム学園クリスマス会
22日 東星学園中高部クリスマス会
22日 マ・メゾン光星聖劇・降誕ミサ
24日 ☆主の降誕夜中ミサ
24日 聖ヨゼフ・聖家族ホームクリスマス会
25日 ☆主の降誕
27日 ☆聖家族

計 報
シスターメラニア 石黒 英子



一九二二年生 歴
一九五八年三月十三日 立誓願
二〇二〇年七月十三日 歸天
シスターアンドレア 青木 光子



一九三一年生 歴
一九七一年十一月十七日 立誓願
二〇二〇年八月十一日 歸天
ベタニア修道女会

お知らせ
令和二年より、「ベタニアの家」
へ頂いたご寄付は、寄付金控除の
対象となります。



永年勤続表彰式で那須地区、清瀬地区、中野地区の各施設をまわりました。

右から
慈生会 櫻井常務理事
ベタニア修道女会 Sr田代総長
慈生会 Sr松本理事長
慈生会本部 江間総務課長

令和二年度慈生会各地区のバザー
及びチャリティーコンサート中止
のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止
対策に鑑み、参加者、関係者の安全
を第一に考慮した結果、予定してお
りました慈生会各地区のバザー及び
チャリティーコンサートを中止させ
ていただくこととなりました。
楽しみにしていただいていた皆様
には、大変残念ではございますが、
何卒ご理解のほどよろしくお願い致
します。

『那須地区光星祭』
十月 四日(日)開催中止
『中野地区ふれあいバザー』
十月十八日(日)開催中止
『清瀬地区ふれあいバザー』
十一月三日(火)開催中止
『清瀬地区どんぐり祭』
十一月三日(火)開催中止
『清瀬地区健康まつり』
十一月三日(火)開催中止
『ベタニアの家 チャリティーコンサート』
十二月十一日(金)開催中止

編集後記



面がコロナ禍で、秋の虫鳴き
を控えて、一日中家で過ごしている分、
始めは行かぬが、家族で楽しむ
かばんりすのなや家族で楽しむ
なでるメンか今までの目
し間がナ了我が
たがた。つスが
家か度なこぶを
庭にけ。こ
で考出
の日常をどこかに忘れてしまっ
たかもしません。貴重な時間、
覚気は温泉を満喫する旅に憧
この頃を過ごしています。(杉山 智和)

分生ベをい中病様終み人涯ス
できて見くでんの生とびと十
するつい。出で手誓喜とか一
。こなだ理来ると各の前て主
は。こはと地なり。願えキ日
て。とあを思隣。り宣イト
奉。あるコツコツ。いも(初大
献。生とる物継。き若誓
(Sr中野 利恵) 切識はにしし
意切識はにしし
部てす神